

改善事例

XYステージコントローラ TeleMatrix

画像処理装置と連動させて ワーク移動と検査結果を管理する

→ 画像処理装置を使った目視検査の自動化

整列した部品の外観検査を自動化する場合、次のポイントを評価・検討する必要があります。

1. 画像処理装置で欠陥の抽出が可能か評価
2. 部品（カメラ）の送り装置の検討
3. 検査結果のレポート、管理方法の検討

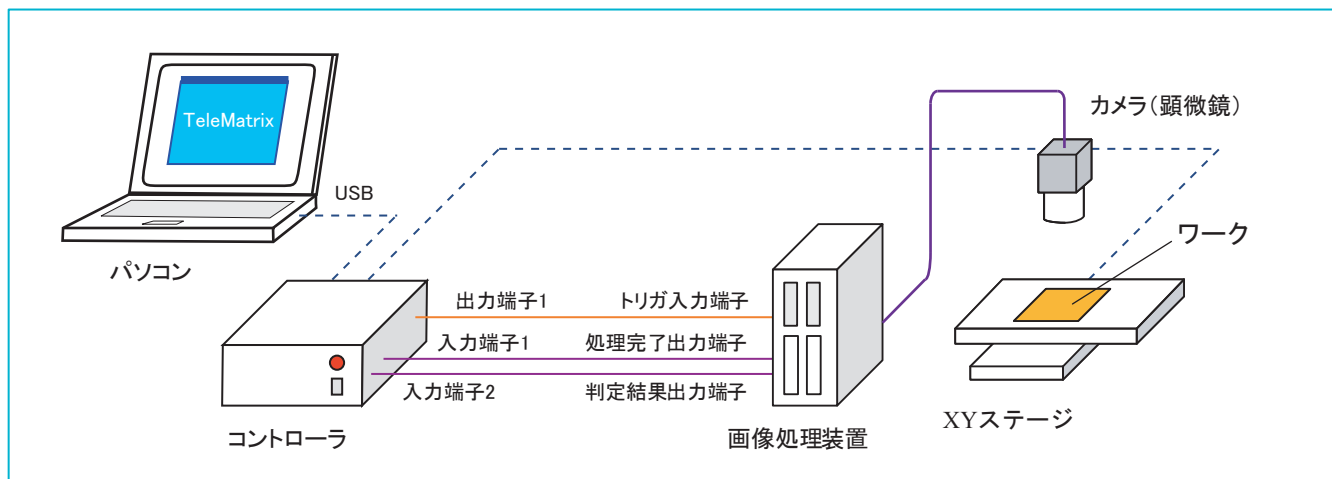
多品種少量生産などに対応させるような柔軟性を持たせたシステムを構築するには、多くの手間と時間を必要とします。

◆ TeleMatrix により自動化をサポート

ファインシスの開発した【マッピングソフト TeleMatrix】を搭載したXYステージコントローラを活用すれば、「部品（カメラ）の送り」、「検査結果のレポート」機能を簡単に実現することができます。

画像処理装置で外観検査ができることを確認いただければ、あとはステージコントローラに画像処理装置を接続するだけです。新規ソフトウェア開発は必要ありません。

接続例

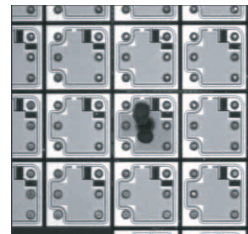


XYステージコントローラ TeleMatrix

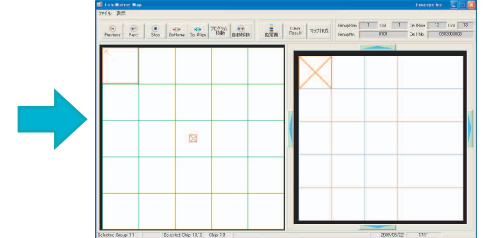
多品種少量の検査にも柔軟に対応

マッピングソフトTeleMatrixでは、検査対象の部品、パレットの大きさに応じて簡単に検査範囲を設定できます。

検査部品、移動範囲をマップとして管理できます。検査対象が変わっても保存してあるマップを読み出せばすぐに対応することができます。



検査対象



マップ画面

検査結果もマップ上に表示

画像処理装置から出力されたOK/NG判定をマップ上に色付けして表示します。

また、色付けされた色を対応した番号でCSVファイルに出力します。

新規にソフトウェアを開発することなく、画像処理結果を表示、保存することができます。

